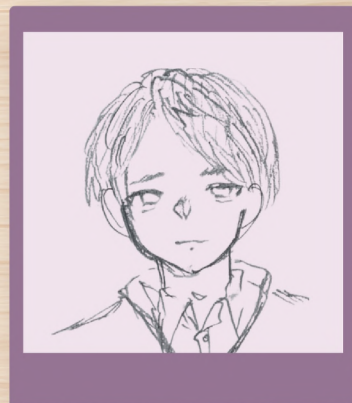


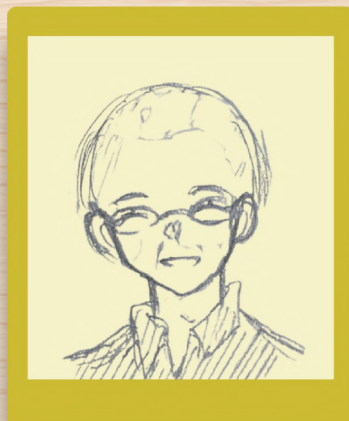
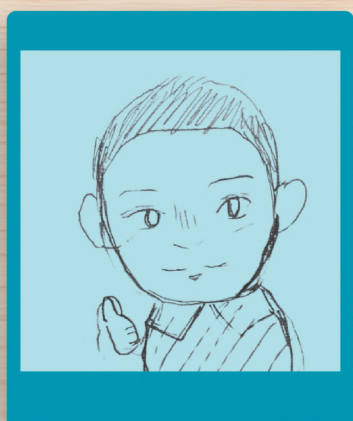
松代



人物



図鑑



D-1



池田 竜夫さん

有限会社イケダエンジニアリング

C-1
C-1



戸谷 嶺之さん

有限会社太陽自動車興業

B-1
B-2



田野口 直生さん

有限会社長野エーシーエス

A-1
A-2



春原 直樹さん

株式会社アルカディア

創刊にあたって

長野県松代高等学校長 阿部栄智

松代人物図鑑

取材の様子とご協力いただいた皆さま

I-1
I-2



高橋友一さん

山亀 高橋青果

H-1
H-2



宮入信晴さん

松代園芸有限会社

G-1
G-1



室賀英二さん

株式会社 JBN

F-1
F-2



野村隆夫さん

葡萄園のむら

E-1
E-2



栗林宏至さん

栗林建設有限会社

「松代人物図鑑」創刊にあたって

長野県松代高等学校長 阿部栄智

この度、本校の生徒たちが地域連携活動の新たな試みとして制作した『松代人物図鑑』が、無事に創刊の運びとなりました。本図鑑の制作にあたり、多大なるご協力をいただきました地元の企業の皆様、ならびに地域の皆様に心より厚く御礼申し上げます。

本作は、生徒たちが地域の未来を担う魅力的な方々と直接「話す」としてその生き方に触れ、地域の産業や歴史を深く「知る」とともに、働くことの意味を「学ぶ」というコンセプトのもと、日頃の探究活動の成果を1冊に凝縮したものです。

誌面には、インタビューを通して感じ取った地域の熱量や、未来への学びが生き生きと表現されています。この図鑑が、学校と地域、そして人と人を結ぶ新たな架け橋となり、松代の魅力を次世代へとつなぐ契機となることを願っております。

今後とも本校の教育活動への温かいご支援をお願い申し上げます。



地域連携協働室から

この『松代人物図鑑』には、地域で活躍されている方、松代高校にゆかりがある方、さまざまな方の想いや歩みが紹介されています。仕事や肩書きだけではなく、「どんなことを大切にしているのか」「どんなきっかけで今の活動につながったのか」にも注目しながら読んでみてください。

地域連携コーディネーター 今井有見

記事は、生徒たちがインタビューや取材を通して感じたことをもとに、一人ひとりが言葉を選びながら作成しました。慣れない取材や文章づくりに悩みながらも、地域の魅力や人柄が伝わるよう一生懸命取り組んでいます。ぜひ温かい目でご覧いただければ幸いです。

また、表紙のイラストは本校生徒が制作したものです。表紙とあわせて、生徒たちの想いが詰まった一冊をお楽しみください。

この図鑑から、新しい興味や出会いが生まれれば嬉しく思います。



株式会社

アルカディア

春原 直樹様

出身：長野県千曲市

出身高校：松代高校

役職：代表取締役

性格：真面目、几帳面



仕事内容

金属の板である“板金”を用いて主に産業用機械の部品や映像音響用の設備を製造している企業。ペットボトルやエアコンを作る機械に使われる部品製造が半分、もう半分は建物などで使われる音響機器を作っている。「仕事を通して人格の向上と豊かな人生を育み、社会に貢献します」の理念のもとチームワークと対応力を磨きたい。



インタビュー内容

Q,仕事に取り組む中でのやりがいがありますか？

A,社員の人達が今まで出来なかった事や難しい加工ができるようになってきているとき。

Q, お客様と接するとき大切にしている事は？

A,数ある会社の中からアルカディアを選んでくれているうえで期待に応えるように心がけている。

Q, 気をつけていることは何か？

A,相手に正しく気持ちを伝えること。

Q,好きな作業はなんですか？

A,図面を描く仕事と鉄板を曲げる加工をする仕事

Q,仕事での達成感を感じる時

A, 数値目標を超えてクリアしたとき

Q, 仕事でのストレスをどう解消する

A,色んな人と話してる。暴飲暴食

Q,仕事をするうえで何歳まで続けたいか

A,社長は60歳位まで仕事はまだ続けたい。

～松代高校生に伝えたいこと～

高校生は人生でいちばん大事な時期だから、今興味のあることをたくさん経験してください。



編集者：渡辺夢和・吉池真介・武藤悠河
春日俊佑・丸山颯太

高校時代の話し
高校時代は、ミュージック部に入ったが、先輩が怖すぎてやめて。サッカー部にも入るも、練習がキツくて一日でやめる。高校卒業後上京。寮生活、一人暮らしを始める。
最後に高校生に伝えたい事。
将来のことも考える。やりたいことをやる。友達と遊ぶ事。



株式会社アルカディア

春原 直樹 様

1979年8月17日生

長野県千曲市出身

アルカディア歴24年

株式会社

アルカディア

1983年に創業し、設計から板金加工、電気設計、配線、シーケンス制御まで一貫製造を行い、お客様に完成品を提供しています。外観部品や、操作パネル、治具、金具などの単品制作を得意としている会社です。

未経験な方には先輩社員がマンツーマンで慣れるまで教え、何でも相談しやすいように常に人をつけています。

世の中の流れより先を進んでいる会社を意識していて、今後新しい事業展開もしていく予定だそうです。

「仕事を通して人格の向上と豊かな人生を育み、社会に貢献します」の理念のもとで、チームワークと対応力を磨きたい方を必要としています。

春原さんについて

アルカディア歴24年の春原さん。趣味は音楽・サツカー・車・スノーボード・ビリヤード。小中は勉強がとても嫌いだったそう。高校生ではサツカー部に入っていたけれど1日でやめてしまったそう。「自分はだめな人間だ。」「誰にも認められない」と思うこともあったといいます。

大学は東京の大学に行ったそうです。春原さんは大学時代が一番楽しかったといいます。そこで、今まで誰にも認められなかった人生だったけれど、大学で始めて個性が認められ評価をされたそうです。春原さんは本気でやめたいと考えたこともあったそうですが、家族や同僚に支えられながら続けて来れたと言っています。

Q 仕事面で気をつけていること

春原さんが仕事面で気をつけていることをお客さんに対してと社員の方たちに対してそれぞれ教えてくれました。

まずお客さんに対して気をつけていることは、設計や板金をしている企業は他にもたくさんある中からアルカディアを選んでくれたことに対して感謝の気持ちや誠意をもって要望や期待に答えることができるように接するようにしているそうです。

次に社員の方たちに対して気をつけて



けていることについてです。

春原さんは上の立場の人、特に社長である自分の言葉は良くも悪くも社員の人たちに出る影響が大きいと考えているそうです。そのため、意図しない意味で伝わることがないように社員の人たちと話をするときには言葉選びを特に気をつけて接しているそうです。

Q 仕事でのやりがい・達成感

春原さんは経営理念の考えのように社員の皆さんにもアルカディアでの業務を通して豊かな人生を歩んでほしいと思っており、社員の人たちが業務の幅を広げることができているのを見るときにやりがいを感じているそうです。また、社長として事業を発展させるために考えた目標を達成できたときには特に達成感があるとお話してくださいました。

Q 仕事での心の支え・何歳まで続けたいか

春原さんの心の支えは、家族（息子4人）親として不自由させたくないといっていました。社長という使命感としては、社員、社員の家族も春原さんの心の支えになっているそうです。

次に仕事は何歳までやっていきたいかという質問では社長は60歳くらいまで続けたい、仕事はやれるだけやっていきたいそうです。仕事の中に人生があるそう教えてくれました。

仕事をやっていく中でやりがい幸せを感じる。ずっと続けたいと言っています。



Q 高校生に伝えたいこと

高校の時、春原さん部活はやっていなかったがバイト、服、音楽には興味があったので好きなことはしていたと教えてもらいました。

高校生に伝えたいことは今やりたいことは挑戦してみる。将来のためになるかは別として、色んなことに首をつっこんでやりたいことはいっぱいやってほしいとのことでした。

そして、高校時代の友人は大切に春原さんのように社長になると気軽に友人と呼べる人ができないそうです。中には利害を求めてくる人もいるので高校時代の友人は言いたいことも言えるし気を使わず過ごせるそうです。

（畔上真緒 石井愛蘭
水崎月乃 小林 空）

長野エーシーエス

田野口 直生

- ・この仕事をする前はSE、デイトレーダー、カナダで庭師などをしていた
- ・ニートを経験
- ・三人兄弟の次男
- ・サッカー歴12年
- ・6歳の娘がいる



仕事内容・・・

- ・電気制御盤の作成
(坂城町を拠点として
いる)

インタビューを通して

- ・松代という地域は人々が優しい
- ・人生一度きりだから今できる事は今のうちにやっていたほうが良い
- ・高校のときは、勉強をする必要は無くなにかに没頭することが大切
- ・色々な人との出会いも大切に似したほうが良いということを学びました



感想

- ・ 基盤を作ることは難しいことだと思った。従業員の人たちとの仲がすごい良いと思った。
- ・ 沖縄で開発しているテーマパークがすごい迫力的がありそうに楽しそうだったので行ってみたい。
- ・ 田野口さんがノートなどを経験しても社長になったという話を聞いて、何事にも諦めず、前を向いて進んで何事にもチャレンジしていけば、大きな夢を叶えられることを実感した。



一体その技術はどこに使われているのか。

エーシエスさんのその技術はどのような場所に使われているのか、気になりますよね、実はあの長野よりも大都会である東京都で使われているそうです。東京都のシンボルといっても過言ではないあの東京タワーの近くのビルに使われているそうです。そのビルの階以上でエーシエスさんが作った電気制御盤が入っています



目標は

- ・ 年内に従業員を二百人にしたい。
- ・ 街を豊かにしたい。なぜなら、街が豊かで企業が盛んになって活気ある街になれば県外に、行った人でも必ず戻ってくると思うから。

イベントや行事

社員みんなが先頭となり屋台など、色々なものを一から作って従業員みんなをもてなしたりもしている。

編集者

- ・ 原山陽向
- ・ 佐藤結菜
- ・ 大日方心鈴
- ・ 小島由羽
- ・ 萩原紹康
- ・ 福島海璃
- ・ 山岸裕弥

松代高校 -6-

有限会社長野エーシーエス

〒389-0602 長野県埴科郡坂城町中之条 1 2 7 0

TEL/0268-82-8081

<https://naganoacs.com/>



有限会社
長野エーシース
田野口 直生
長野市松代町西寺園出身

- ・6歳の娘がいる
- ・3人兄弟の次男
- ・サッカー歴12年



エーシースとは どんな会社か？

有限会社エーシースの理念は1人ひとりが輝くものづくり現場をつくろうです。

エーシースは、創業50年、社員59人売上高8.8億年年齢層は20〜75歳です。

会社では、女性が活躍していて、退職率が低いです。

有限会社エーシースは、物を作る機会を作る会社です。(プラスチックを作る機械)会社エーシースのミッションは、ものづくり現場を元気にすることです。社員同士仲がとて面白いです。社員で売店をやったり、スポーツ大会をやったりします。

社員の家族も参加することもできます。

田野口直生さんは どんな人か

田野口さんは、長野県松代町西寺園出身、現在44歳。高専卒業。6歳の娘がいる。三人兄弟の次男。サッカーを12年やっていた。カナダで教師をしていた。田野口さんは一時期二ートを体験していた。現在の会社エーシースを継ぐのは弟だった。弟がやらないと言ったから田野口さんが継いだ。

田野口さんが松代にいてよかったことは、佐久間 象山が身近に感じることもあることです。田野口さんが生きて来て面白いと思うことは、皆人だけと考えていることが違うとても面白い生き物だと思っっている。



有限会社
太陽自動車興業

～代表取締役～

戸谷 嶺之

好きな車種: TOYOTA

趣味: キックボクシング

人柄: ポジティブ

目的: 地域への貢献

—— まずはこの仕事を始めたきっかけ何だったか

車が好きだったし、現会長である私の父の後をつぐつもりだったので、小さい頃から「車屋」になることは決まっていた、整備の専門学校を卒業して、他所に勤めることなく当社に就職しました。

—— 仕事はなんのためにあるのか

仕事は人のためにある。

具体的には、人助けや人に感動を与える仕事。

（自分の技術を活かす）

他には人の役に立つ仕事、人に頼られる、人のサポートをするなど。

（地域やボランティア活動のような人助け）

そしてお客様のニーズに合った商品やサービスを提供している、人のことやお客様の立場になって考えている。



—— 代表取締役ってどんな仕事

全ての責任を負う仕事です。代表になってみると想像していた以上に重圧がありますが、会長が培ってきた基盤を守りながら、さらに発展させていきたいという思いで日々奮闘しているそうです。

—— 大変なことはなにか

特にお客様やスタッフの表情がうかがったり、相手の立場を考えて行動する人間関係を保つのが大変です。社員が辞めていった時の穴埋めや現会長の父親と衝突したときも大変でした。



TOYOTA



お客様にサービスを提供する時に意識していること

みんなにいつも言っているのは、お客様のための作業をして欲しいということです。

「社長に言われたから」ではなく、自発的にお客様のニーズを探り、その思いに寄り添ったサービスを提供するように言っています。

その思いに寄り添えお客様に喜んだりしてもらえるとやりがいを感じます。

目標より目的をもつのはとても良い



目標を持つより目的を持った方が良い、それはなぜか。

目的は、最終的に達成したい抽象的な目標（ゴール）を指しています。

目標は、その目的を達成するための具体的な手段や指標を指します。

目的は「なぜ」、目標は「何を」達成するかを表します。

目的を持つことで新たに目的を持てる（他のやりたい事が見つけたなど）そして、その目的をあとからでも変えることも可能でいくつかのやり方が出てきます。

最後に高校生へのアドバイスの

高校生のうちに色々なことにチャレンジしたほうがよい、失敗に恐れずに自身や勇気を持って挑むことが大事です。

それはなぜか。経験を沢山するため将来にも役立つのと、そして自分の良いところや苦手なところを改めて考えたり、自分のことをもっと分けることができるので、学生のうちに色々なことにチャレンジをして経験を、失敗をしてそれを学びまたチャレンジをして成長します。



記載者：中澤七海・酒井レアンドロ・酒井ジェシカ・木内心暖



有限会社

太陽自動車興業

戸谷 嶺之

代表取締役

二代目として車の事業に
携わり農業なども手掛け
地域への貢献を期す

どんな仕事を
しているのか

当社は42年前、現
会長である私の父が
長野市安茂里で創業
しました。当社はデ
イラーの下設けで
板金塗装をするとい
うBTOBがメイン
でしたが、20年前
に現在の場所に移転
したのを機にカーリ
ペアのフランチャイ
ズ、『カーコンビニ
倶楽部』に加盟しま
した。現在は車の販
売・買い取りから板
金塗装、車検まで車
に関わる様々なサー
ビスを提供していま
す。

小さいころから
車屋を継ぐつも
りだったのか

小さいころから「車屋さ
ん」にあこがれを持って
いて、整備の専門学校を
卒業し、他所に努めるこ
となく当社に就職し、会
長と衝突しながらも経験
を積み重ね歩んできました。
そして2022年に
二代目として代表に主任
しました。いざ代表にな
ると想像以上の重圧があ
ったけれど何とかこれま
でに会長が培ってきた基
盤を守りながら日々発展
させていきたいと思っ
ています。



この仕事をする ことになったとき っかけ

父がもともとこの会社の会長をやっている。その父に憧れてこの仕事をしようと思いましたが。でも、すぐにその仕事についていたことを後悔して、この仕事についてしまったからこの仕事についていたときにそれが達成されてしまい、この会社で何を頑張っていくのかが分からなかったから後悔しています。目標にしていなければもっと違う仕事と考えられて、もっといろんなことを意識できたと言っていました。

スタッフは何人 いるのか

現在は全員で八名。スタッフの皆にいつも言っているのは、お客様のために作業をして欲しいということ。「社長に言われたから」ではなく、自発的にお客様ニーズを探り、その思いに寄り添ったサービスを提供するようにと言っている。また企業として大事にしていきたいのは、地域の課題を解決し、地域に貢献することです。



具体的にどんな 活動をしている のか

この辺りには農家さんが多く、戸谷さんは店から見える山や田畑の風景が大好きだといっています。毎朝風景を眺めながら「今日も一日頑張ろう」と思っています。そんな中で、高齢化や後継者不足で困っている農家さんが増えています。戸谷さんは異業種ではあるが、農家さんに田んぼや畑をお預かりしているため農家さんになわって農作業を行っています。当店では毎年十一月に感謝祭としてイベントを開催しており、そこで収穫したお米を振る舞うことが出来るばと考えているそうです。

素晴らしい取り 組みですね

ゆくゆくは車の事業とは別に、農業事業部も作りたいです。最終的には車や農業だけにとどまらず、ここに来れば何でも解決できるような「地域のプラットフォーム」になりたいと思っています。



今回インタビューを させてもらった方

イケダエンジニアリング

池田 竜夫 さん

趣味 : 映画鑑賞や読書

自己PR: 人生はチャレンジの連続です。無限の可能性にチャレンジしていきたいと思います。

夢 : 悔いのない、充実した人生を送ること。



会社紹介

1906年の創業以来、当初は金属ヤスリの製造を担当していましたが、その後の機械化のありを受け、金属切削メーカーとして技術の発展と共に歩んできたこの会社。大物から小物、鋳物、溶接物等、各種の加工などができる、いい製品は良い環境からという言葉に基づいて、お客様のニーズに添えていけるような設備が整っていました。少数精鋭のスタッフ達が、プログラミングから段取り、加工、仕上げまで各自で受け持ち、良い環境を駆使して製品作りを日々行っています。ながのビジネス共創プロジェクトの連携事業も行っており、地域企業における研究開発の活性化及び企業業績の向上にも貢献している会社です。

池田さんの経歴

元々、自動的なものが好きだった池田さん。高校時代物理が好きで、理系の大学へ進学。その後社会人となって起業したいという思いが芽生えて、1999年に地元松代へ戻った後、家業であった仕事を父親から継ぎ、2008年にイケダエンジニアリングの社長となりました。

池田さんの大きな変化があった出来事が、脳卒中になり入院したことだそうです。入院当初のお話を聞いているときはすごくネガティブな感情が大きいと感じました。今まで通りにできない、人と会話ができないそんな環境が三年続いたそうです。だが入院から気持ちを変え、新しいスタートを切り新しい自分になったという大きな気持ちの変化がうかがえました。

ネガティブな感情からどう気持ちを変えられたのかと質問したところ、結局は自分しかできないことに気づき、とりあえず一生懸命やってみようと何事も頑張ることからだと考えたことで気持ちを变えることができたと言っていました。

環境と気持ちの変化

池田さんの大きな変化があった出来事が、脳卒中になり入院したことだそうです。入院当初のお話を聞いているときはすごくネガティブな感情が大きなと感じました。今まで通りにできない、人と会話ができないそんな環境が三年続いたそう。

だが入院から気持ちを变え新しいスタートをきり新しい自分になったと大きな気持ちの変化がうかがえた。

ネガティブな感情からどう気持ちを变えられたのかと質問したところ、結局は自分しかできない事に気づき、とりあえず一生懸命やってみよう、と何事も頑張ることからだと考えたことで気持ちを变えることができたと言っていた。



当時はリーマンショックの影響でほとんど仕事が無かった。その時に考えたのがイケダ君です。会社の命運をかけた作業は成功しました。イケダ君は組み立て式で部品一個一個を作るのが大変だったそうです。

池田さんと映画

池田さんは学生時代とハマりしていたものがありました。

池田さんがハマっていたものは「映画製作」その腕前は確かなもので、映画祭に作品を出したことがあったとか。そして、そういった作品の中で特に印象に残っているものは、ガチヨンXというヒーロー系の作品だったといえます。今は映画作品を作っていないのですが、映画を見るのはとても好きとおっしゃっていました。その中でも特に侍タイムスリッパという映画がオススメで、ぜひとも高校生に見てもらいたいと語っていました。他にも様々な映画を見ており、その話している熱意から池田さんの映画好きがよく分かる場面でした。

人生の加点

「新しいプラスを作る」

これは池田さんが私たちに語ってくれた言葉です。

池田さん自身も、入院中に挫折を味わったりすることもあり、そんな中でも希望を感じていました。この言葉は、人生の中で様々な経験を得てきたそ池田さんだからこそ言える最大限の言葉だっと思います。

皆さんの中には、マイナス思考の人が少なからずいるとは思いますが、この言葉をどう解釈していくかは人それぞれです。ですが、きつといつかこの先で役に立つ言葉であることに間違いはありません。

このようなお話を、池田さんは過去をゆっくりと振り返りながら、お話をしてくれました。

最近、始めたことは？

池田さんが最近始めたことは「英会話とレストラン巡り」。特にレストラン巡りは驚くべきことにこの場所にあるそう？というのをインターネットで調べるでなく、全て自身の勘で見つけているのだそう！今まで、巡った回数は13件。いろいろな店を巡り、その店がどんな店なのか店員さんにインタビューをしたりしてわかっているそう。更に、その店ができた背景などを調べるのも好きだということですよ。



「失敗はわからない」

by 池田竜夫

執筆者一覧

1組 嶋田愛生音

瀬在爽人

瀧澤奏芽

2組 成澤逢凜

宮下蒼平

吉澤琉生

3組 曾根翔富

竹村柚稀

仕事のこだわり

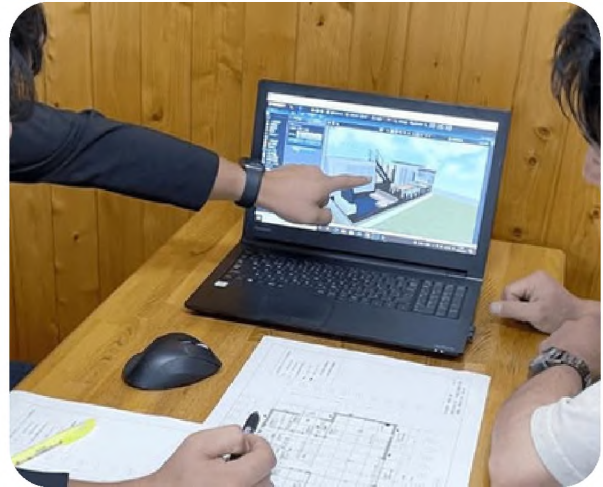
現在建築に使う素材はプレカットという方法であらかじめ加工されたものを、使っている人の割合が90%以上で栗林建設では雇用している大工さんが、一本一本ノコギリで切ったり穴を掘ったりして手刻みをしている。お寺の仕事をする上で、大事な技術になりません。伝統的な物を守るための技術がある。



住む人に寄り添う家造りと本当の目的を引き出す

完成された住宅を買うことが主流になって来ているけどライフスタイルに合わない家になりがち。お客様と実際のどのような家になるか3Dで見てもらいながらどのような家になるかイメージを持ってもらいながら相談している。その時にお客様の大切にしてほしいなど引き出す。結果理想に近づけて不満の少ない家を作っている。頭の

中にある設計図を引き出す。



質問

Q 素材にこだわりはありますか？

A 木材を輸入したほうが安く済むけど運ぶ時に排気ガスなどが出てしまうので長野県産の木を主に使っています。

Q この仕事をしていて自分が成長したと思うことはありますか？

A 人をまとめる力、リーダーシップ能力、話す力、コミュニケーション能力などです。

Q 今までで1番記憶に残っている仕事は何ですか？

A 他の仕事では聞けないお客様からの腹の底から出るありがたい言葉が聞けることです。

編集

清水 清
中村 水
杉田 唯
瑞希
夢和 菜
途 愛

栗林建設

栗林 宏至

1987年生まれ 38歳

代表取締役

一級建築士資格所持者

(建築業界の中でも取得
するのが難しいと言われて
いる資格)



建築の仕方

木造住宅設計がメインとしていて、プレカットを使わず栗林建設自らの技術を使った手刻みで木造を加工して丈夫な建築をしています。
新築も依頼されますが、主に改装（リフォーム）、修繕（リノベーション）の依頼を受けております。

仕事する上で のモットー

現場では、できるだけ冗談を言い合える雰囲気づくりを心がけているそうです。
それは、お客様と住宅の相談を受ける時も、冗談を言い笑顔にしているそうです。仕事をしながら「笑顔で過ごすときを創造する」です。
なぜひらがなにしたのかと言うと、ネガティブなイメージがあるのでひらがなにしたそうです。

経験談

嫌な経験な前社で休み無しの失敗げできない工事でミスをしてしまい、近隣の停電をおこしてしまい2年目の時に苦言を言われてしまった事。良い記憶は、新しい場所に住み始める人に心の底から「ありがとう」を言われた時があったそうです。

材料のこだわり

材料は主に木材を輸入していて自社で携わって大工の人達が時間をかけて家を改修したり改装を行っているそうです。大工、経理合わせて8人所属しており、力を合わせています。



葡萄園のむら
野村隆夫さん

プロフィール

長野市松代町出身

年齢53歳

2009年

葡萄園のむら設立 就農



この仕事始めた きっかけ

ぶどう園を設立したきっかけは、働いていた企業の社長が会社を閉店したため退職したことがはじまりでした。その後、近隣の大規模農家が体調不調になり、そのお手伝いから、就農を決意したそうです。また、ぶどうを育てようと思ったのは、自分で食べて美味しいと感じる果物だからだそうです。そのほかに誰かにプレゼントするときも高確率で喜んでもらえるし、並行移動の作業で楽に作業ができるからだと言っています。

葡萄園のむらという名前をつけたのは葡萄園という名前を知人のデザイナーさんたちが協力しロゴを作り名前を決めてからを設立し、就農したそうです。

ブドウ作りで苦勞 すること

ブドウ作りでもっとも苦勞するのは四月から六月にかけての二か月間がブドウ栽培をするにあたって最も大変な時期だそうです。

この二か月間はブドウの新芽が芽吹きそこから果実が実るからです。

ブドウが新芽から実がつけ収穫するまでの間、野村さんご夫婦は、お二人だけで二・五ha（約二万五千㎡）東京ドームの約半分の大きさの畑を管理し、枝や果実の剪定を行っています。

これほど広い畑での作業なので使用する器具は、多いと予想しましたが、実際は電動バサミ・草刈り機・農薬をまくためのスピードスプレイヤーと使用する器具は少ないためブドウの管理にとても時間を要するそうです。

経営理念と大切にしていること

葡萄園のむらは「世の中に評価される商品を食卓に届け笑顔あふれる幸せ造りに貢献する」という経営理念のもと、良い意見もクレームも全て受け入れて、より良い商品を食卓へ届けていて、お客様の明日への活力になる商品づくりを目指しています。

それを実現するために野村さんが大切にしていることは、お客様をがっかりさせないで笑顔にできるようにぶどうを作る際に「おいしくなれ」と言ってみたり、お客さんが作ったぶどうを食べながら笑顔になっている姿を想像しながら作業したり、日々心と愛情を込めながら作っているそうです。

今後の目標

現在深刻になっている高齢化によって耕作放棄地の増加・栽培面積の減少、農作物の生産量の低下などの問題があります。そこで野村さんは、「どうにか再生することはできないのか?」、「この地域をまま後世に継承するにはまずい」と決意し、有志で組織を立ち上げ四年前から活動を開始したそうです。

今後の目標としてワイナリーの建設や雇用の増大・商品販売を計画し、地元である松代地域全体を盛り上げ後世に継承しても恥ずかしくない地域づくりを目指しています。



まとめ

野村さんはインタビュ―中終始明るく、話を聞きながら私たちは「今の時間を大切にしよう」という気持ちになりました。

最後に、野村さんからいただいたメッセージを紹介して松代人物図鑑をしめたいと思います。

「前日の夜に明日やることを6個紙に書いてそれを一から順にやってみよう」無駄な時間を過ごさないために大事にしていることだというお言葉をいただきました。

アドバイスを聞いて私たちが今やるべきことを考えてこれからの将来のために頑張っていきたいと感じました。

編集者

野勢月渚

内田遙也



野村隆夫(53歳)

所在地：〒381-1221 長野
県長野市松代町東条669



美味しいぶどうの作り方

適切な土壌、日照、適度な水分、そして丁寧な手入れが重要です。

甘いぶどうをお届けするには、早すぎても遅すぎてもだめ、完熟で収穫することが必要です。ぶどうには追熟がない為、収穫タイミングで美味しさが決まります。

お客さんが自分の作ったぶどうを食べて笑顔になった顔をイメージして作ると自然と美味しいぶどうが作れます。

一番は、美味しくなれと思いつながら我が子のように愛情を注いであげると甘くて大きいぶどうが完成します。

葡萄園を始めた
きっかけ

当時、建築会社に勤めていて、上司の方に「ぶどう園をやらないか」と勧められ、ぶどう園をやるうと決意したそうです。

葡萄園の名前をまず決め、松代で農家をしてる人に畑をもらい、本格的にぶどう園を始めました。



どうして葡萄育てようと思っただか

ぶどうを育て、その実を食べることで、人に喜びや感動を与えたいという気持ちが根底にあります。

以前の仕事で農業や農作物の栽培に携わっていて、ぶどうの加工品に携わる仕事をしていたそうです。農業法人などでぶどう栽培に魅せられたり、就農支援制度を利用したりしてぶどう園を始めるケースがあります。

ぶどう会員

野村さんはぶどう会員というものもやっていません。

酸素水スーパージェロで育てたお米二キが送られます。年会費5000円でとてもお得です。興味があったら入ってみてください。

ぶどう会員
大募集!

まとめ

野村さんはインタビュウ中終始にこやかで、話を聞きながら私たちは人との出会いを大切にしようという気持ちになりました。最後に野村さんからのメッセージを紹介して終わりたいと思います。「寝る前に6つやることを書き出す、明日の行動を書き出す、やることを決めて行動すると無駄のない人生になる」という言葉をいただきました。

私はいままで自分になかった考えを知れたの自分の夢に向けて10代の今を一杯生きたいと思いました。そして野村さんのように無駄のない人生を送っていきたいです。

編集者 斗蔵 蓮 武蔵 栞
卯花 小林 佐伯 矢嶋 華音



ホームページ制作について

ホームページの強みについて聞いてみると誰でもアクセスできるため「拡散力」があり多くの人を動かすことができることと言っていました。しかし、良いことばかりではなく【諸刃の剣】とも言っていました。拡散力があるため批判なども広まったり、誠実にやっつけていてもデマだつたりと、苦勞も多いのだとか、ホームページは相手を理解し、対話して、その会社にとって武器になるものを作るのが大切！！それが売り上げつながらと言っていました。

経緯

29歳の時に働いていた会社が倒産してしまった、そのときに、逃げたくなったけど、最後までやる大切さを学んだ。その後、派遣会社に行ったけど自分にあってなく、すぐに辞めてしまった。その後、長野オリンピックの仕事が楽しかった。その後、JBN(株)会社に入って、前の社長がもう働けなくなってしまうので、社長になった。

働くことの意味 と喜び

「今のメンバーの生活を守る」ことが一番のやりがいと語っていることから、仕事は自分のためだけでなく、仲間や社会のためでもあると言えるから。



コミュニケーションの大切さ

「お客さんとのコミュニケーションをしっかりとる」「伝えることをした人に伝える」信頼を築くには、一方通行ではなく双方向の対話が不可欠であることを教えてくれました。



個性と技術の融合情報との向き合い方

「個性を生かす」「情報処理の勉強」や「テクノロジーを活用」ただ技術を習得するだけでなく、それを自分らしく使うことが大切だということ。



編集者

ホームページの

制作

・田中 昊

経緯

・木村維吹

働くことの意味

喜び

コミュニケーションの大切さ

個性と技術の融

合情報との向き

合い方

・窪田



(株)JBN

室賀 英二様

株式会社JBN 代表取締役社長。
高校生の時に文化祭実行委員を
やったことがきっかけで、自分
でなにかを作り上げる楽しさを
知り、今から約18年前に会社
の代表取締役社長を引き継ぐ。

企業の強み

この会社は、色々な企業から頼まれたWEBサイト制作をすることを中心に行っている。企業の強みは主に二つあり、一つ目はWEBサイトの構築をすることだそうなんです。WEBサイトをお客さんに分かりやすく見てもらえるように、色合いやデザイン、写真の構成を考え、制作することを企業の強みとしている。例えば、WEBサイトをひと目で見た時に、伝えたい情報がとても明確になっていたり、見たときのインパクトがあるものを作ることを大切にしているそうです。二つ目は、依頼された企業の売上が出るWEBサイトを作ることだそうなんです。商品の売上は、会社にとって、とても重要なことなので、売上が出るようなWEBサイトの制作をすることが企業の強みだそうです。

仕事のやりがいと楽しさ

一つは、企業の売り上げアップするとき。もう一つは、自分が作ったサイトにお客様の反応があったときややりがいにつながる。その反応を見て、改善しながらサイトを作っていく。反応が得たいから、アクションをする！反応がなかったら、自分でサイトを変えていく。変えられるのは自分だけ！！

相手が変わらないときは、自分が変わって、自分が変われば相手も変わることができる。相手に変わってもらうために、自分から声を掛けることを心がけることが大事！



WEB活用のメリット・デメリット

誰でもアクセス・発信ができてしまうインターネットなので、買ってみた商品の状態・批判をネットを使って広まってしまう。

ネットは、嘘も書き込めてしまうため、見た人がその嘘を信じ込んでしまう可能性があるという。



Web制作の工夫

一番大切にしていることは、相手のことをよく知って Web サイトをつくる。

テクノロジーをどう活かすかで、センサーとハブスポットを活用していく。

サイトをつくるにあたってお客さんと対話をすることを大切にしている。

企業から見た、高校生のネットの関わり方

いろいろな人が簡単にネットで発信することができるようになった現代で、ネットの情報を鵜呑みにしてはいけない。

ネットを使うときは、自分で調べて検証し、いろいろな見方を学ぶべきだという。特に、チャットGPTなどが発達してきている中で、AIに指示すれば、すぐに文章にしてくれたりと、便利だが、そこに本人の意思などは一つも入っていない。高校生がそこに気づくのは難しいため、それを鵜呑みしてしまいがちだが、自分で裏取りをするという癖をつける必要がある。

便利で何でもしてくれるからこそ、AIは高校生が楽をするために使うのではなく、ある程度の見分けができる大人が効率化するために使うべきだという。



【編集者】
萩原奏
山岸望愛
久川日菜子
小林悠美



松代園芸
宮入信晴様

講師紹介

宮入信晴さんについて。松代園芸有限会社は昭和四十年代後半に宮入さんのお父さまが設立され宮入さんは長男だったため、覚悟を決めて松代園芸有限会社を受け継がれました。

長野市を中心に北信地域全域で庭木の剪定を始めとして、保全や管理など地元に着した植木屋として暮らしの中にある庭の意味を伝えながらお客様の心のゆとりと豊かさを提供するため、積み重ねてきた技術と知識を持った職人集団の皆様のちからと共に庭や文化的景観を守り続けています。

「社員の方たちが性別や人種など関係なく、社長をやりたいと思えるような」会社作りを目指しているそうです。

仕事の内容

現場作業は造園工事、剪定作業や土木工事などを主にしています。

造園工事とは、引越す前の家で使われていた石を新しい家の庭に移動させて同じような庭ではなく、違う形の池泉庭園を作る作業です。

剪定作業とは、敷地に生えている木や植物の樹形を整えたり、日当たりや風通しを良くしたりする作業です。

土木工事とは、道路やトンネルなどの建物以外のものをインフラを建設したり、修繕する工事のことです。松代園芸では、二〇一九年の台風一九号によって受けた被害の堤防強化工事の一部である芝刈り工事をしていました。

インタビュー

この仕事のやりがい

お客様あつての仕事なので現場での仕事でお客様から直接お話しを聞けることがこの仕事をやる上でのやりがいにつながります。

大変だったこと

作業する際に悪天候になつたら、それに応じながら作業をしなければならぬので大変です。



嬉しかったこと

お客様から直接の感謝や感想を聞けて自分たちもとても嬉しいです。

会社の目標

社員が社長をやりたいと思える会社を作り上げていきたいです。

気をつけていること

夏などでも外での作業なので熱中症にも気をつけて、空調服などを着用して対策をしています。

コロナ禍で大変だったこと

社員が新型コロナウイルス感染症に感染して突然の欠勤がでて大変だった。

コロナ禍での仕事環境の変化

仕事中にマスクをするようになったり、仕事の打ち合わせ方法が変わり、外で行うようになった。

水琴窟（すいきんくつ）が流行っているが発注は？

企業よりも個人のお客からの発注が多い。



まとめ・感想

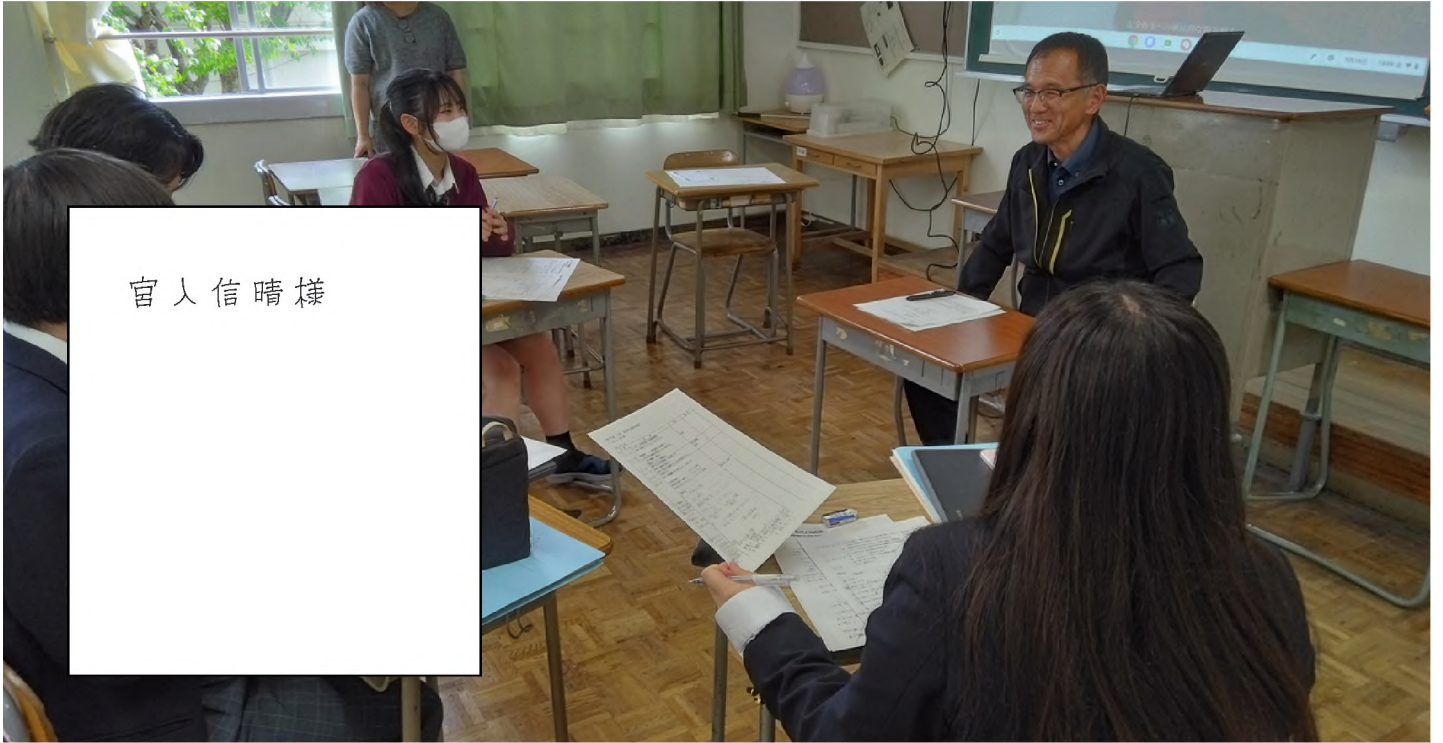
今回のインタビューを通して 庭園工事、剪定などの日々の生活を華やかにしてくれる仕事に加え、建物の機能維持や公共工事、堤防の芝張りなどの街の人が安全に暮らせる仕事など、人のために行動できる素晴らしい仕事だと思いました。

今回インタビューをした宮入信晴さんは、一人ひとりにやさしく丁寧に答えてくれて、とても話しやすい方でした。

仕事をなさっている上でやりがいや嬉しかった事を聞いた際に、宮入さんはお客さんの喜ぶ姿を見ることが、と答えてくださいました。お客さんのことを第一に考えてくれる思いやりのある人だと思いました。

編集委員

春斗 小林
みおり 米山
大慈郎 池田
桜葵 市川



宮人信晴様

宮入信晴さんは松代園芸有限会社で働いています。仕事内容は自然遺産が持つ意味など、職人の経験や技術力を活かし依頼主の要望に応えながら、次世代へ繋げていく手伝いをしていきます。木や花はそれぞれの家庭の思いがあるため、それをどうやったら形に残せるかなど、お客様と寄り添い、しっかりと相談しながら考えています。

仕事をやっている上で利用する人のためにお客さんの気持ちを考えることができ、要望に合わせた造園など、家の雰囲気に合わせて庭を考えています。毎日新しい刺激となり、今まで培ってきた技術と経験を活かし、お客さんの要望に合わせて、失敗のないようにしています。



人を喜ばせる仕事

では、なぜこの仕事を選んだのでしょうか。それは宮入さんの父親がもともこの仕事をしていた父親から受け継ぐ決意をしたそうです。そして宮入さんは大学へ進み土木工事に関すること八年間勉強したそうです。

これからの目標

宮入さんの考えるこれからの目標は、時代に限らずどんな人でも男女関係なく社長になれるようになってほしいと考えています。

宮入様に聞く

Q 仕事をしている中でのがりがいや嬉しいことはなんですか？

お客様に喜ばれることが仕事の中で一番のやりがいです。

Q 今まで仕事をしていた一番大変だったことはなんですか？

台風で被害にあった場所を作業する仕事が多かったです。たところよりも遥かに規模が大きくて違う会社と協力して総勢五十人で作業したけど大変でした。



Q 造園工事と土木工事どちらの方が楽しいですか？ A 民間工事と公共工事では違う楽しさがあります。

民間工事はお客様と話しができるのが楽しいです。公共工事は県からの依頼ですが規模が大きいので他の会社の人と協力しながら作業をするので良い思い出になります。

Q 会社の目標はなんですか？

A 男女関係なく社員が社長になりたいたいと思える会社を作ることです。

Q 大変な季節は？

夏と冬です。夏は熱中症になる作業員が多いです。なので作業衣に扇風機が付いている作業衣を着て作業をしています。冬場は凍るので滑って転んでしまうことがあります。なので冬場の作業は気をつけて作業をしています。

Q 仕事をしているうえで新しく学ぶことはどのぐらいありますか？

A 新しい機械が出てくるので常に学んで何が使えるかを試しています。

Q コロナ時期は作業に影響が出ましたか？

A 作業に影響は出なかったです。作業の時は密にならないようにしたりマスクをして作業を行いました。会議も外でやるようにしました。そしたら良い案がたくさん出てきたので、今も会議は外で行っています。



感想

この活動を通して、お仕事の楽しさ、大変さを改めて感じることができ、良い経験になりました。今回のインタビューにおいて最初は緊張していましたが、宮入さんに明るく接していただき、緊張がほぐれていきました。多くの苦労を伴っても、お客様に寄り添う姿勢が仕事のやりがいに繋がるのだなと思えました。私たちも宮入さんのように様々なことにチャレンジして多くの人とコミュニケーションを取り、仕事にやりがいを持てるように頑張っていきたいと思えます。

編集

市村 琉偉
長田 涉夢
松本 春恵
丸野 夢果



山亀 高橋青果

松代で青果店を営んでいます。
松代ブランドの長芋を入れる箱で特許書を取得

I
山亀 高橋青果
高橋 友一 様

5月16日に、松代の高橋青果店の高橋友一さんにインタビューをさせていただきました。高橋さんは松代で青果店を営んでいます。青果店を営むまでの前職についてや、この職業に決めた理由についてまとめました。

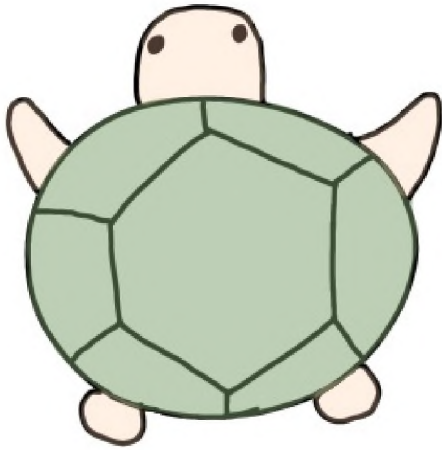
長芋の販売先と生産者不足

高橋青果店で販売されている長芋は、今では松代のブランド品として松代を中心に全国へ配送されています。関東方面だと蕎麦屋などの飲食店へ販売されています。高橋青果店では松代の長芋を美味しく食べるための調理方法などがホームページなどにも記載されています。

今、松代で長芋を作る生産者不足が問題となっています。

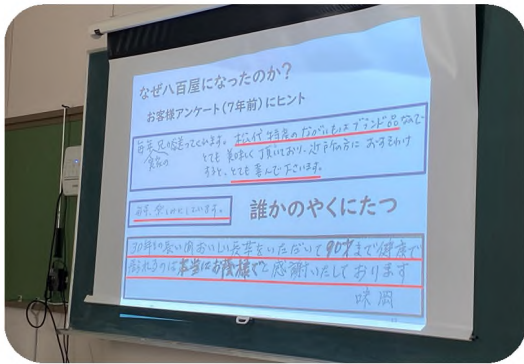
会社名の山亀とはなに？

山亀とは初代亀太郎から現在の七代目高橋さんまで受け継がれてきたのが由来です。亀の甲羅が商業をする上ですごい縁起の良いものとして使われています。



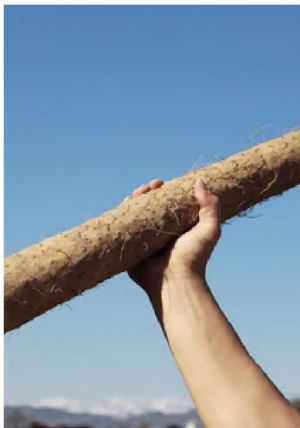
この仕事をしていてのやりがいとは？

地域に年配の方々
が昔から利用して
くださっていてそ
の方々笑顔を見
ることや健康維持
のための役に立っ
のがやりがいだそ
うです。



松代でしか作れない長芋

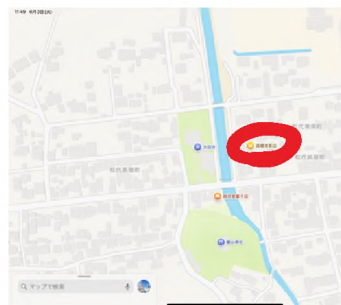
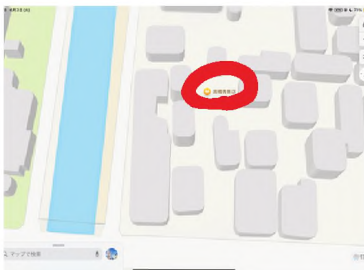
松代の土は昔千曲川が氾濫し泥や細かい泥や砂が流れ込んできました。この氾濫のおかげで長芋が育ちやすい環境ができ、アクが少なく白くて美味しい長芋になり、松代でしか取れないブランドの長芋ができました。他県からも松代の長芋を育てたい農家さんがやってくるのですが松代のよいうな川砂ではなく火山灰で育てているため灰色の長芋ができてしまうそうです。



青果店を営むまで…

前職から20年間エンジニアの会社員をしていて異動になってしまいい、シンガポールで忙しい日々をおくってしまいました。今は、青果店を受け継ぎ健康的な生活を送ることができているようです。

地図



山亀 高橋青果
高橋 友一

山亀 高橋青果 5代目
前職 半導体エンジニア



山亀高橋青果について

高橋友一さんは前職である半導体エンジニアを二十年間やっていたが、家業の山亀高橋青果を継いで五代目になりました。山亀高橋青果の名前である亀は商業で長寿と財福の象徴でもあり安定という意味があり、初代高橋亀太郎の亀をとったそうです。

仕事内容

八百屋の一日

朝六時〜約一時間競売（オークション）

全国のお客様や業者の人に販売しています。

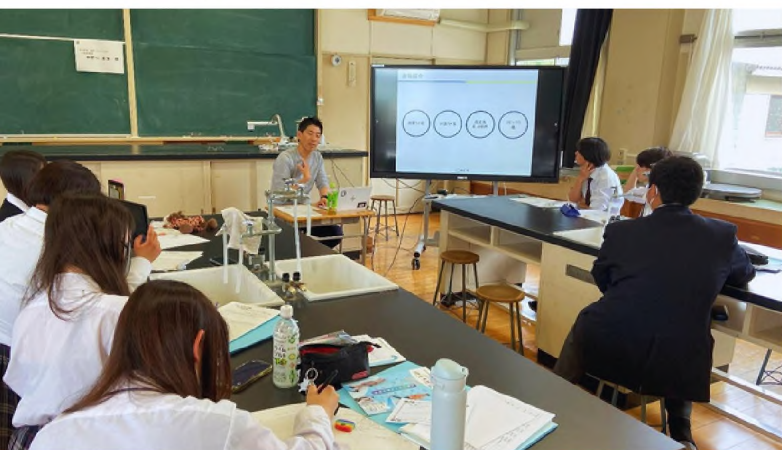
長芋は市場や農家から買ったり、自分の畑を

貸して農家の人に作ってもらっています。

長芋の値段

切れているもの二本で千円

普通の長芋三本（箱含め）四〜五千円



貴重なお時間
ありがとう
ございました！



一人ひとりのお話が
私たちの心に残る学びとなりました。

松代人物図鑑

2026年3月1日発行

制作/発行 長野県松代高等学校

お問合せ 長野県松代高等学校
〒381-1232 長野県長野市松代町西条4065
TEL 026-278-2044
FAX 026-261-2120

本誌内容の無断転記・記載・複写を禁じます。